

CODE : 9702

株式会社**アイ・エス・ビー**

第44期 第2四半期決算説明会

August 8, 2013

<http://www.isb.co.jp>

	PAGE
1. 会社概要 . . . .	2
2. 2013年12月期 第2四半期 決算説明 . . . .	6
3. 上期実績説明 . . . .	12
4. 中期経営計画進捗 . . . .	18

# 1. 会社概要

社名・商号	株式会社 アイ・エス・ビー I S B CORPORATION	
URL	<a href="http://www.isb.co.jp/">http://www.isb.co.jp/</a>	
設立	1970年06月04日	
代表者	代表取締役社長 若尾 逸雄	
事業所	本社・新横浜事業所・三島事業所・甲府事業所・我孫子事業所・ 大阪事業所・鳥取事業所・五反田事業所・名古屋出張所・データセンター	
決算期	12月	
従業員数	連結 1063名(2012年12月末比 164名増)	
資本金	14億4,060万円	
発行済株式総数	4,521,000株(100株単位)	
上場市場／コード	東証2部／9702	
主幹事証券	大和証券株式会社	

## ミッション

私たちは、先見的で卓越した技術力を核とし、  
チームISBの知恵を結集させて、  
顧客や社会のこれからの役立つ解決策を提案することを、  
組織の使命とします。

## ビジョン

「より良いICT社会を実現する: チームISB」

- ▶ 卓越した技術とサービスを提供するチームISB
- ▶ 国際競争に勝ち抜くチームISB
- ▶ 次世代に通用する人材を育成するチームISB



# 株式の状況

## ●大株主情報

(2013年6月末日現在)

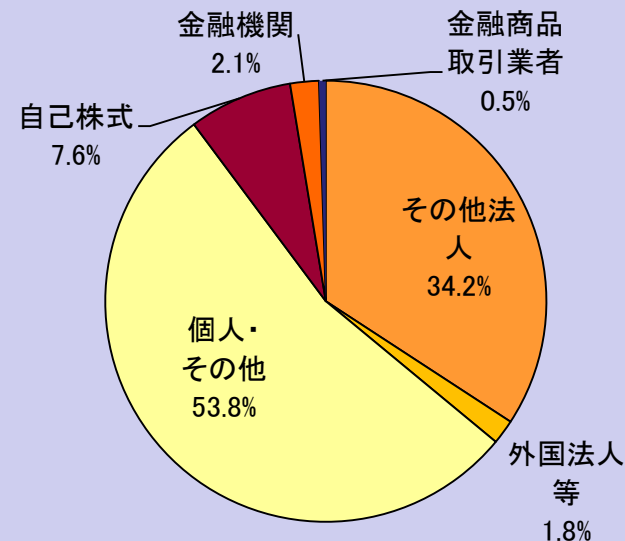
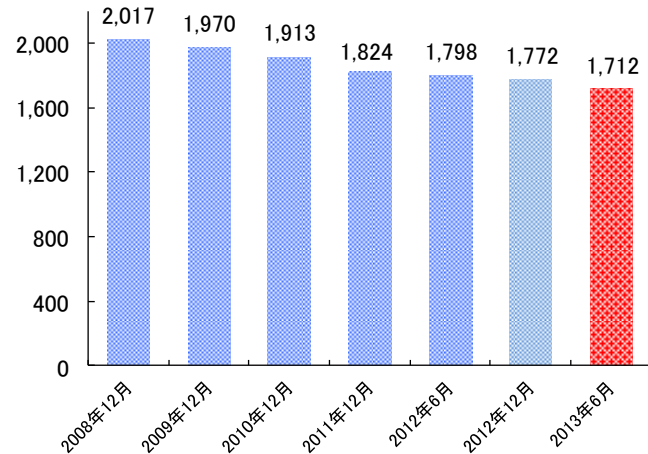
株主名	持株数(株)	持株比率
有限会社 若尾商事	1,370,700	30.32%
株式会社 アイ・エス・ビー	345,206	7.64%
従業員持株会	334,200	7.39%
若尾 守保	135,500	3.00%
竹田 和平	125,000	2.76%
稲葉 正作	119,700	2.65%
株式会社 第一情報システムズ	90,000	1.99%
株式会社 K S K	61,600	1.36%
ROYAL BANK OF CANADA (CHANNEL ISLANDS) LIMITED - REGISTERED CUSTODY	48,000	1.06%
樋上 駿	36,500	0.81%

## ●所有者別株式分布状況 (2013年6月末日現在)

	株主数(名)	株式数(株)	株式数分布比率
個人・その他	1,658	2,432,691	53.8%
金融機関	5	93,100	2.1%
その他法人	23	1,547,650	34.2%
自己株式	1	345,206	7.6%
外国法人等	9	81,200	1.8%
金融商品取引業者	16	21,153	0.5%

## ●株主数の推移

(人)



## **2. 2013年12月期 第2四半期決算説明**

## 2013年12月期 2Q連結累計期間 損益計算書

(単位：百万円)	2012/12期 2Q累計		2013/12期 2Q累計		
		百分比		百分比	増減率
売上高	5,257	100.0%	5,652	100.0%	7.5%
売上原価	4,540	86.4%	4,903	86.8%	8.0%
売上総利益	717	13.6%	748	13.2%	4.4%
販売管理費	599	11.4%	604	10.7%	0.8%
営業利益又は営業損失(△)	117	2.2%	144	2.6%	22.6%
経常利益	124	2.4%	176	3.1%	42.6%
特別損益	102	2.0%	△10	—	—
当期純利益	191	3.6%	71	1.3%	△62.8%

## 【売上高】

携帯端末は、国内メーカーの不振により減少したが、従来から重点分野と位置づけている「組込み」、研究開発案件増加した「モバイルインフラ」、クラウド構築が追い風の「フィールドサービス」が増加したことで、対前年比増となった。

## 【利益】

労務費増により、売上総利益率は低下したが、販管費率の低下により、営業利益率・経常利益率が改善。

当期純利益は、前期に負ののれん発生益による特別利益があった影響で大幅な減益となった。

工事進行基準適用  
影響額

売上高	365百万円
製造原価	330百万円
粗利益	34百万円



# 2013年12月期 2Q連結会計期間 貸借対照表

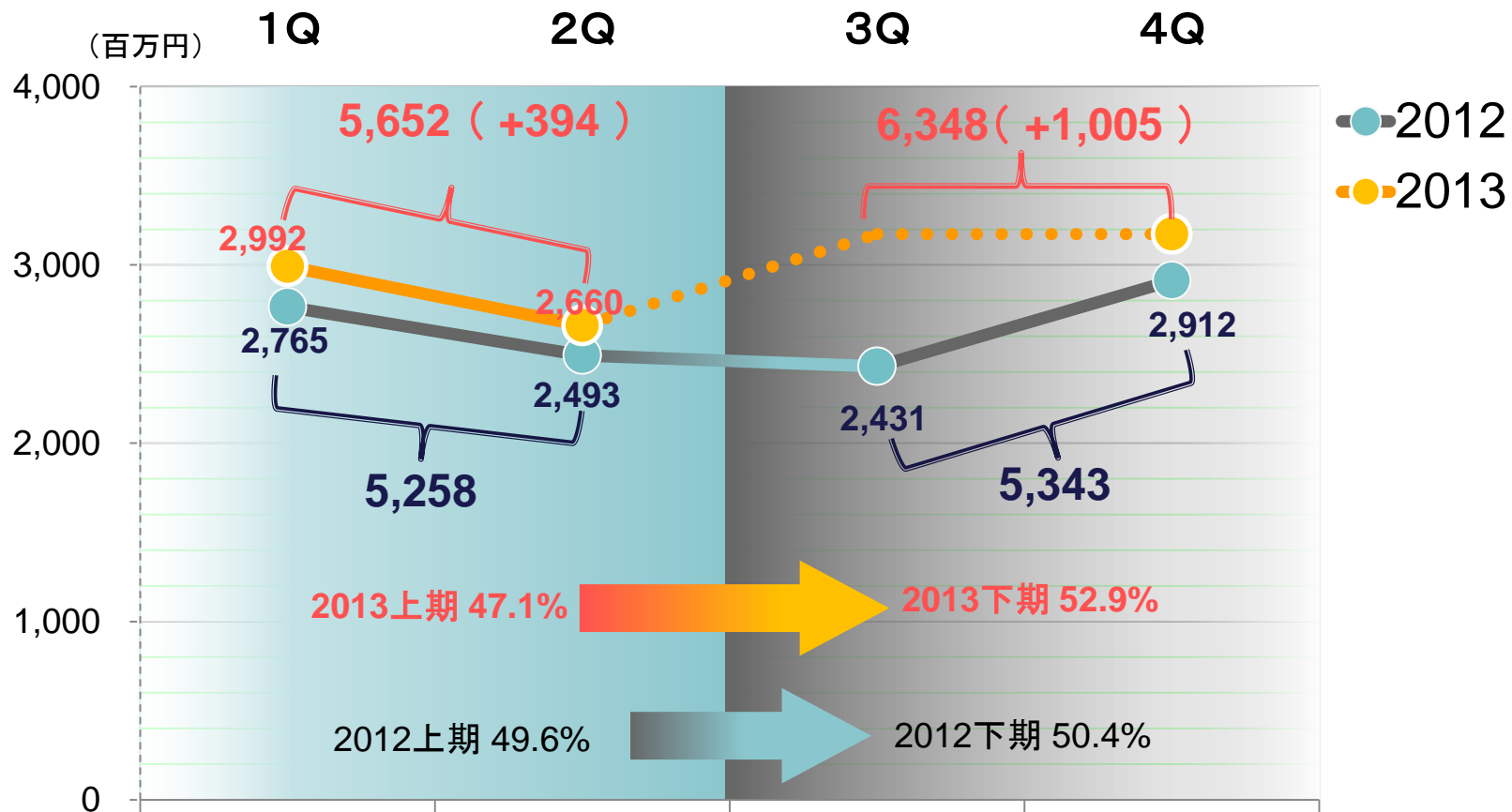
(百万円)	2012年 12月末	2013年 6月末	増減額
流動資産	3,890	<b>4,410</b>	520
現金・預金	855	<b>1,590</b>	735
受取手形及び売掛金	2,380	<b>2,035</b>	△345
商品及び仕掛品	291	<b>387</b>	96
固定資産	1,950	<b>1,531</b>	△419
有形固定資産	412	<b>428</b>	16
無形固定資産	92	<b>138</b>	46
投資その他資産	1,445	<b>964</b>	△481
資産合計	5,840	<b>5,941</b>	101

(百万円)	2012年 12月末	2013年 6月末	増減額
流動負債	1,395	<b>1,500</b>	105
支払手形及び買掛金	517	<b>575</b>	58
短期借入金	70	<b>70</b>	0
未払金	289	<b>325</b>	36
賞与引当金	15	<b>15</b>	0
固定負債	170	<b>187</b>	17
純資産	4,275	<b>4,253</b>	△22
利益剰余金	914	<b>859</b>	△55
負債純資産合計	5,840	<b>5,941</b>	101

## 【主要ポイント】

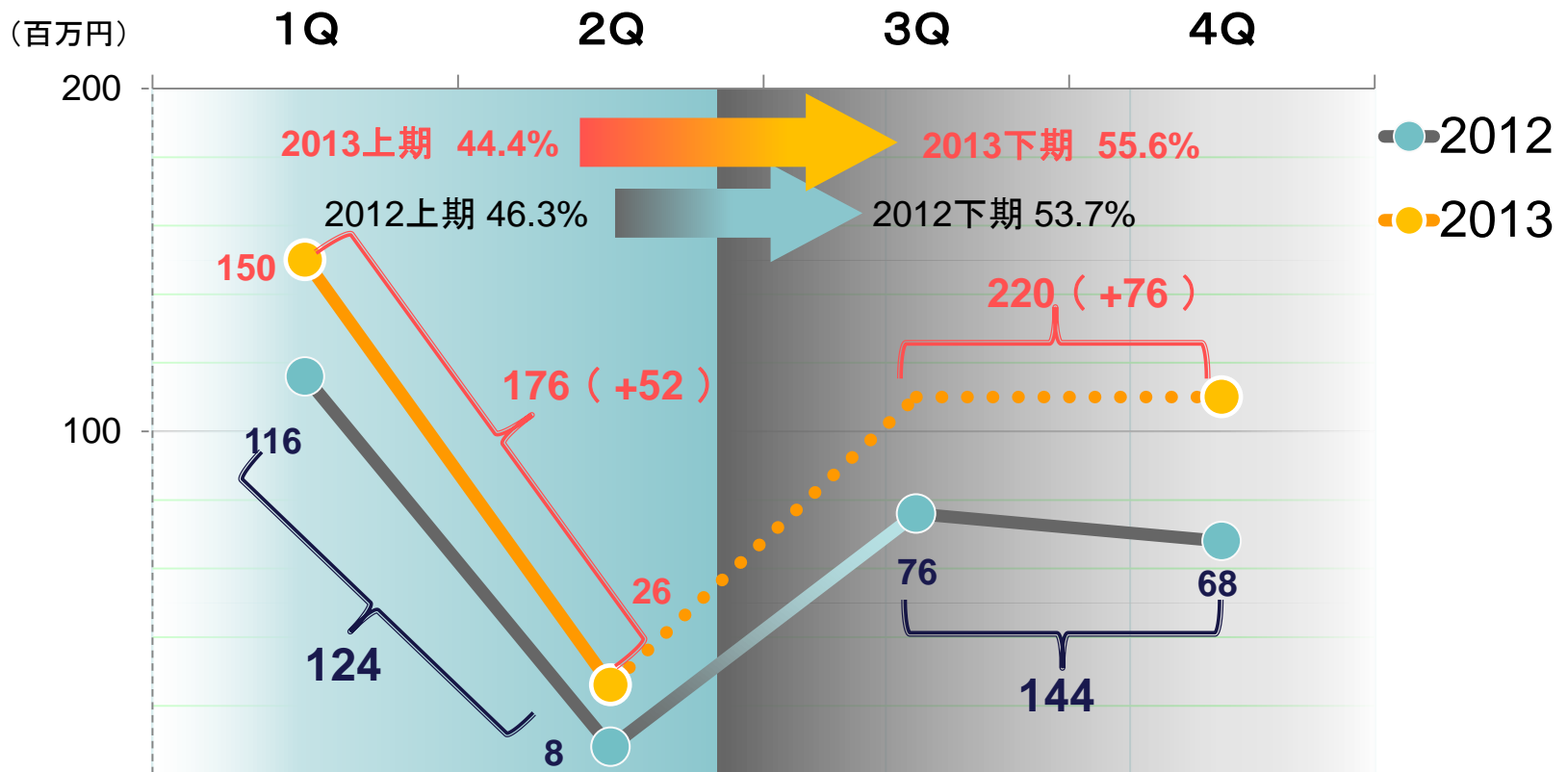
1. 現預金735百万円増、運用資産250百万円減。
2. 仕掛品は前期末比で約3割増し水準。
3. 当期純利益計上するも、新規連結子会社化や配当金支払いにより利益剰余金減少。

# 連結売上高 前期比較



- ・ 1Q、2Qは共に前年同期を上回り、概ね期首計画に沿って推移。
- ・ 通期売上高予想(公表)に対する上期進捗率47.1%

# 連結経常利益 前期比較



- ・ 2Q落ち込むものの計画の範囲内、経常利益は業績予想(公表)を上回って着地。
- ・ 通期経常利益予想(公表)に対する上期進捗率44.4%。

単位: 百万円	2012/12期 2Q	2013/12期 2Q	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	△168	<b>563</b>	732
投資活動によるキャッシュフロー	961	<b>229</b>	△732
フリーキャッシュフロー	793	<b>793</b>	0
財務活動によるキャッシュフロー	△548	<b>△84</b>	463
現金及び現金同等物の増加額	244	<b>716</b>	472
現金及び現金同等物の期首残高	1,240	<b>843</b>	△397
現金及び現金同等物の期末残高	1,484	<b>1,577</b>	93

## 2013年12月期 2Qの主要項目

### 【営業活動によるCF】

税引前当期純利益	166百万円
売上債権の減少	483百万円
受注損失引当金の減少	△196百万円
たな卸資産の増加	△94百万円
仕入債務増加	57百万円

### 【投資活動によるCF】

投資有価証券の償還による収入	300百万円
無形固定資産取得による支出	△75百万円

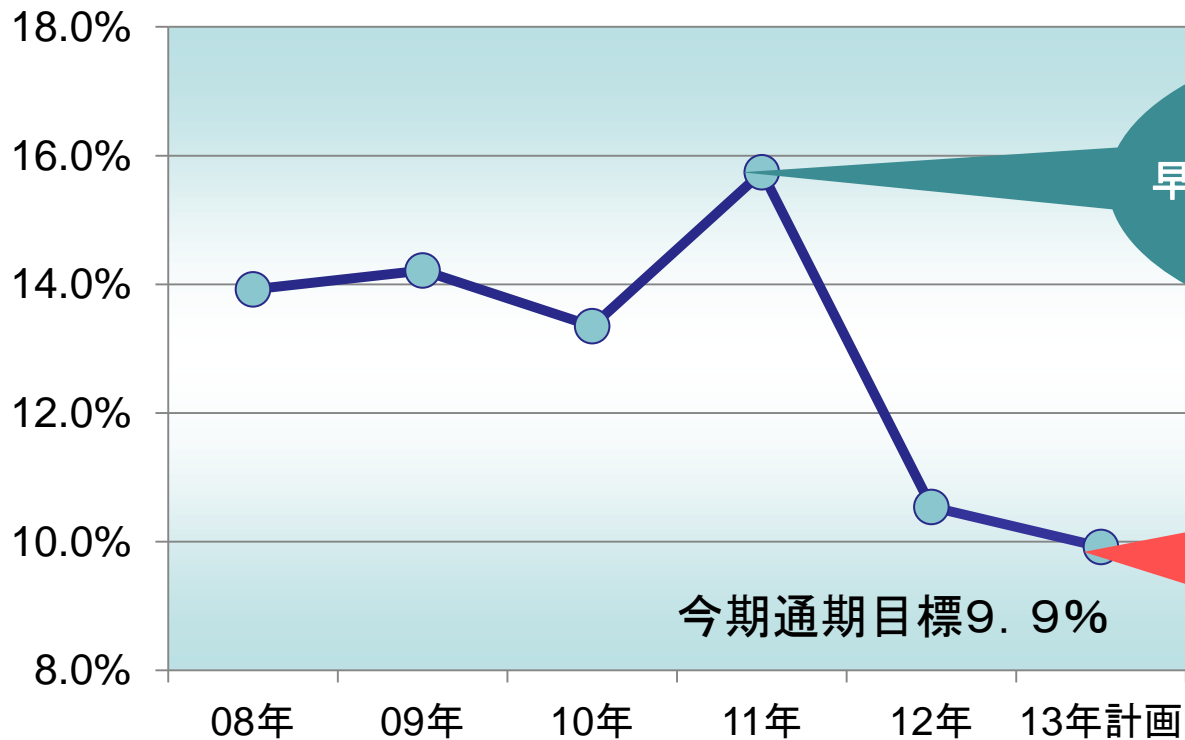
### 【財務活動によるCF】

配当金の支払額	△83百万円
---------	--------

# 3. 上期実績説明

# プラス利益体質への転換(低コスト体質の定着)

## 売上高に対する販売管理費比率推移



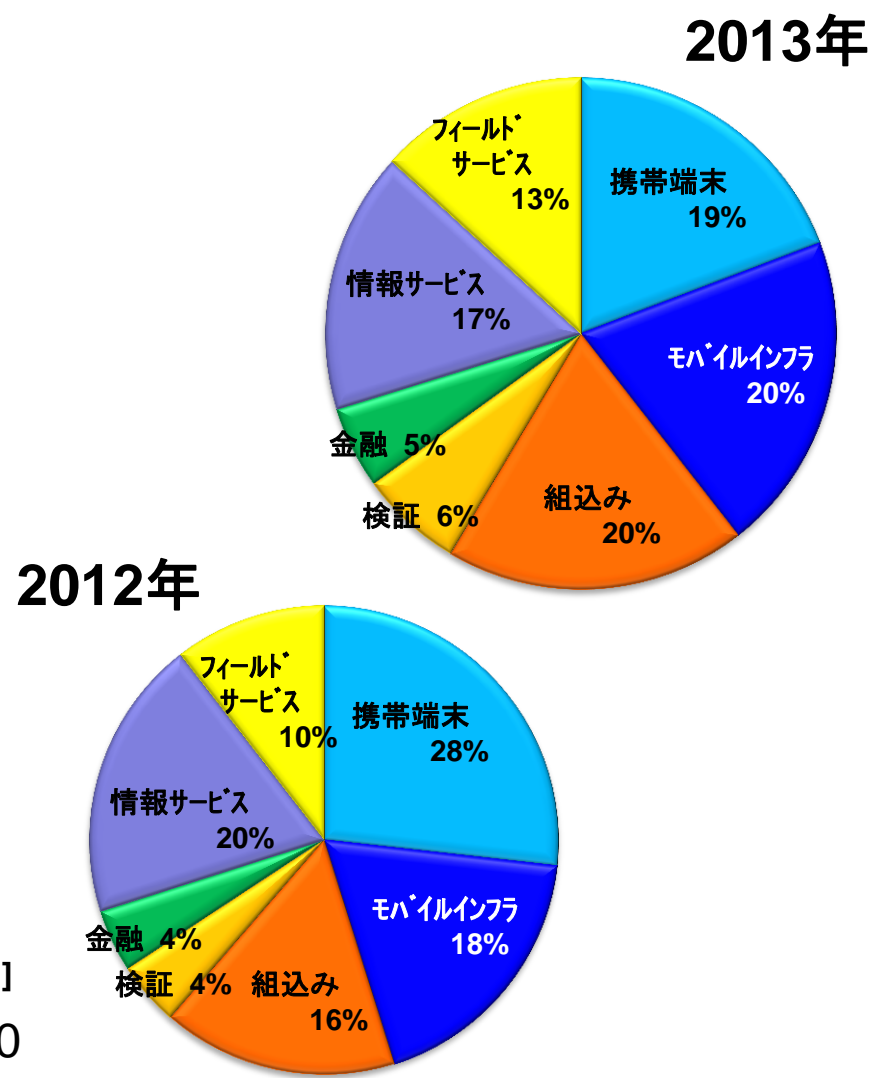
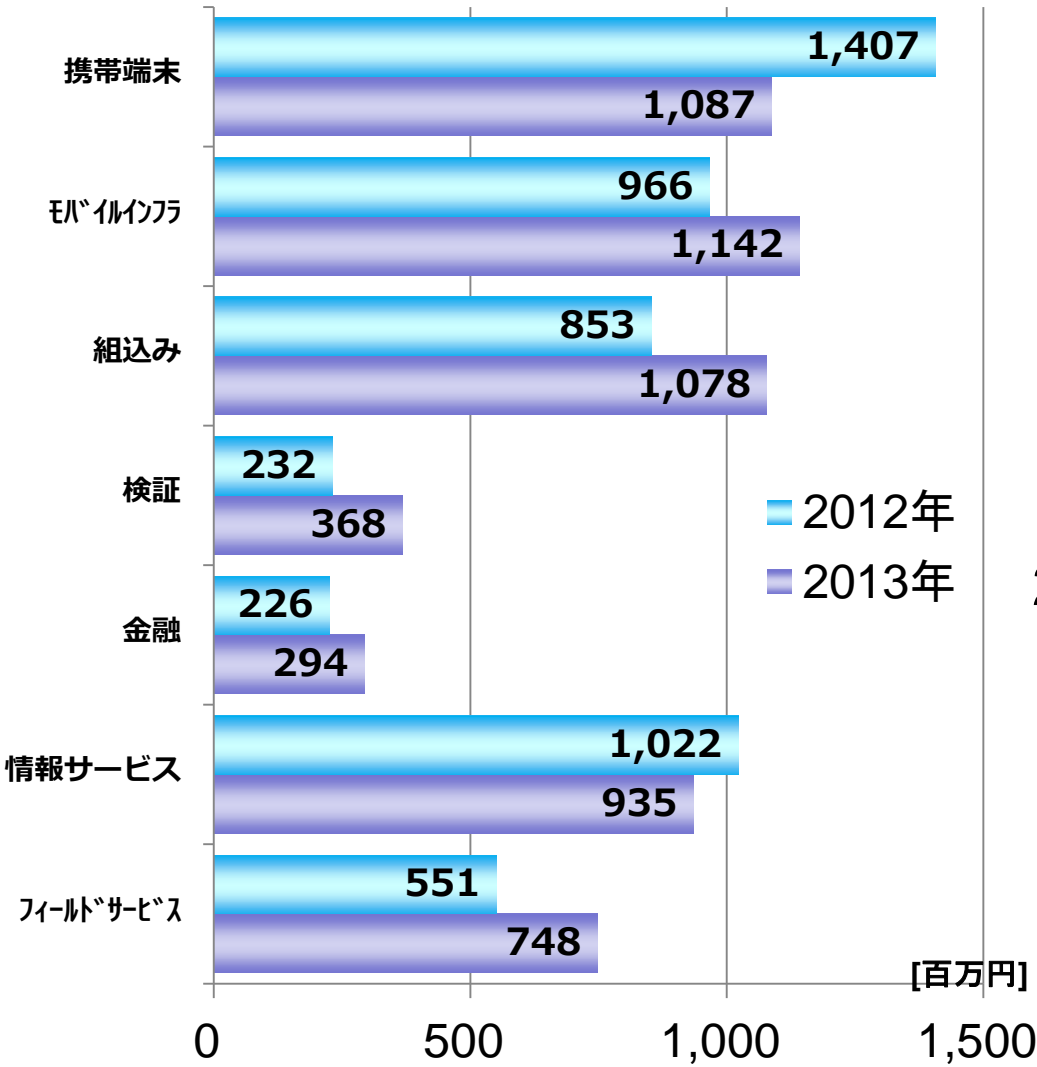
事務所集約  
 早期退職制度  
 開発部門へ  
 配置転換  
 その他  
 コスト見直し

低コスト体質の  
 定着

	売上高	販管費	販管比率
12年上期実績	5,257	599	11.4%
13年上期実績	5,652	604	10.7%

# 前年同期比較 連結セグメント別売上高実績

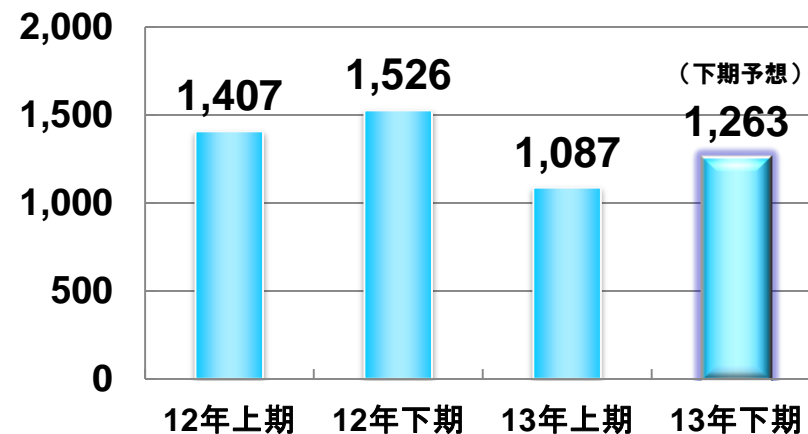
## 2012年2Q累計 vs 2013年2Q累計売上高および同構成比比較



## 携帯端末

主要顧客である大手電機メーカーの業績悪化による影響大きく、また携帯端末事業撤退の動きもあり前年下期比大幅減。比較的好調なメーカーへのシフトが進み、下期は増加を見込む。

売上高(百万円)

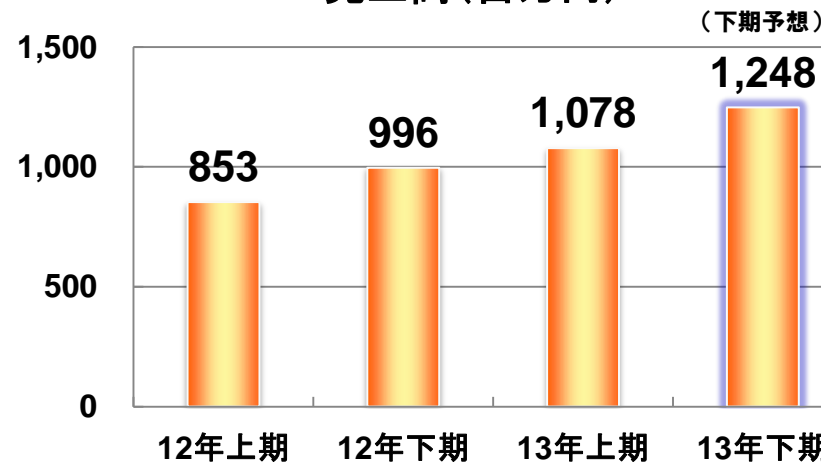


## 組込み

IP機器開発やデバイス関連業務での新規大手顧客獲得が寄与し、引き続き拡大基調。既存顧客では、車載系は引き続き拡大傾向。医療系は現状維持レベル。

総体的に携帯端末業務からの要員シフトが着実に進展。下期も増加を見込む。

売上高(百万円)

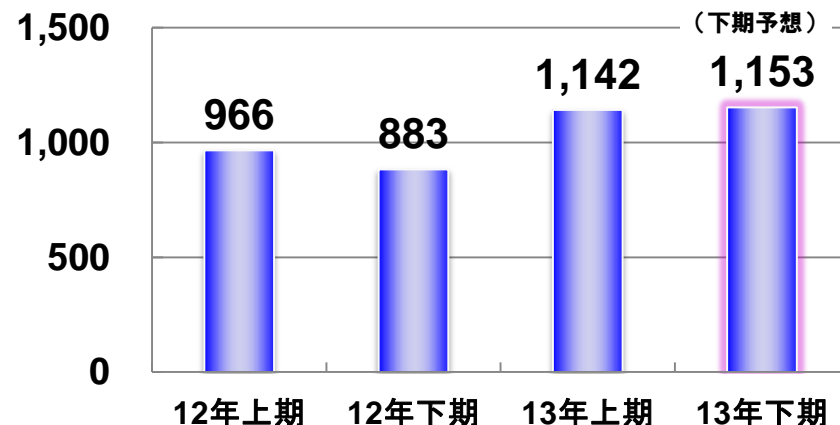




## モバイルインフラ

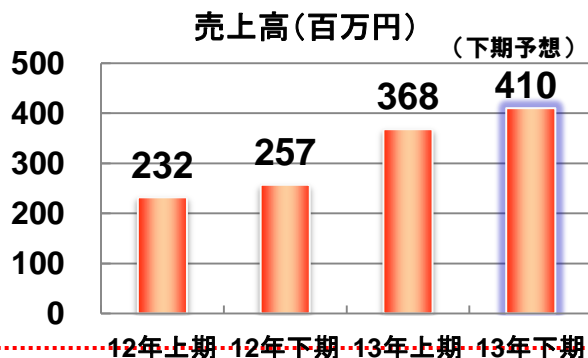
研究開発案件の受注分野拡大が売上増を牽引。  
当分野を主要領域とする子会社のノクスデータ社の売上堅調も寄与。  
既存主要顧客は現状維持レベル。  
下期は上期レベルで計画。

売上高(百万円)



## 検証

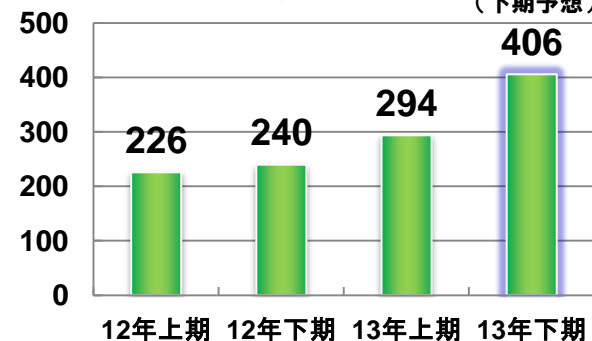
比較的好調な大手電機メーカーからの携帯端末開発に付随した検証業務の受注獲得が売上拡大に寄与。下期はGIOTを活用した提案で受注拡大を計画。



## 金融

景気回復の影響を受け、金融関連は全般にIT投資拡大。上期増加だが、下期に本格寄与。

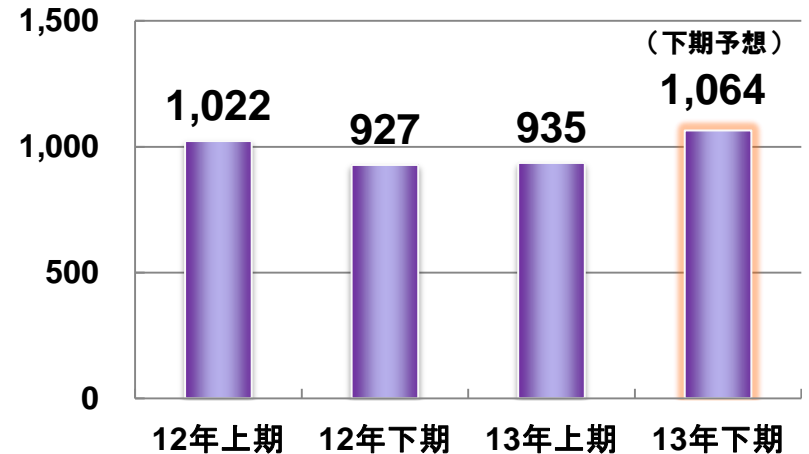
売上高(百万円) (下期予想)



## 情報サービス

官庁・自治体向けが苦戦。  
また、民間企業向けでも大型案件の受注が  
できず、景気回復の波に乗れず、  
前年下期と同水準。  
下期は新規の直取引等が寄与し、上期比増加  
を計画。

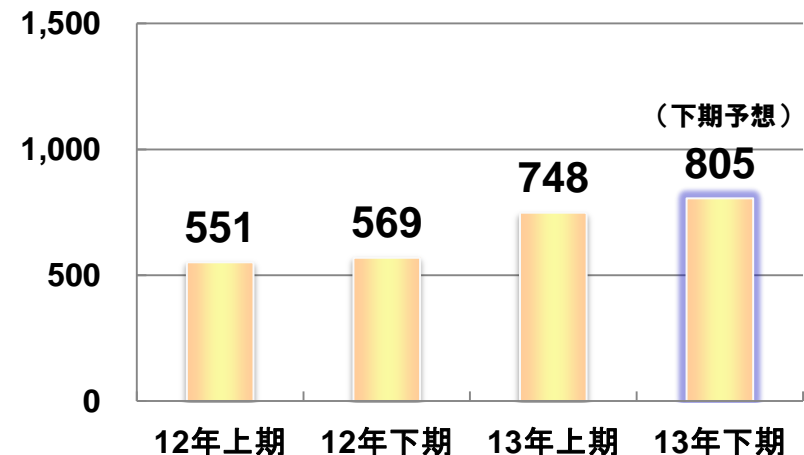
売上高(百万円)



## フィールドサービス

クラウド関連の構築業務が好調。  
下期も上乘せを狙う。

売上高(百万円)



# 4. 中期経営計画進捗

2015年12月期  
連結売上高140億／同営業利益率5%

① 新市場開拓／新事業確立

⇒ 進捗と中期経営計画終了年度の目標

② 縮小する既存受託開発の維持拡大

⇒ 中期経営計画スタート前年106億円を113億円強に

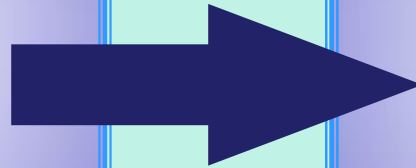
③ グループ経営の連携強化(管理、営業、協力会社)

⇒ 連結販売管理費率10%未満の達成と同水準の維持

# 連結売上高140億円に向けて

『45周年 グループ売上140億、利益5%』達成のための主要課題  
～受託開発事業から新市場／新事業へのシフト～

既存取引先



既存取引先

新規  
取引先

新事業

## 主な新事業

- ・ 公共ブロードバンド事業
- ・ 検証事業
- ・ クラウドサービス事業
- ・ ホワイтスペース事業

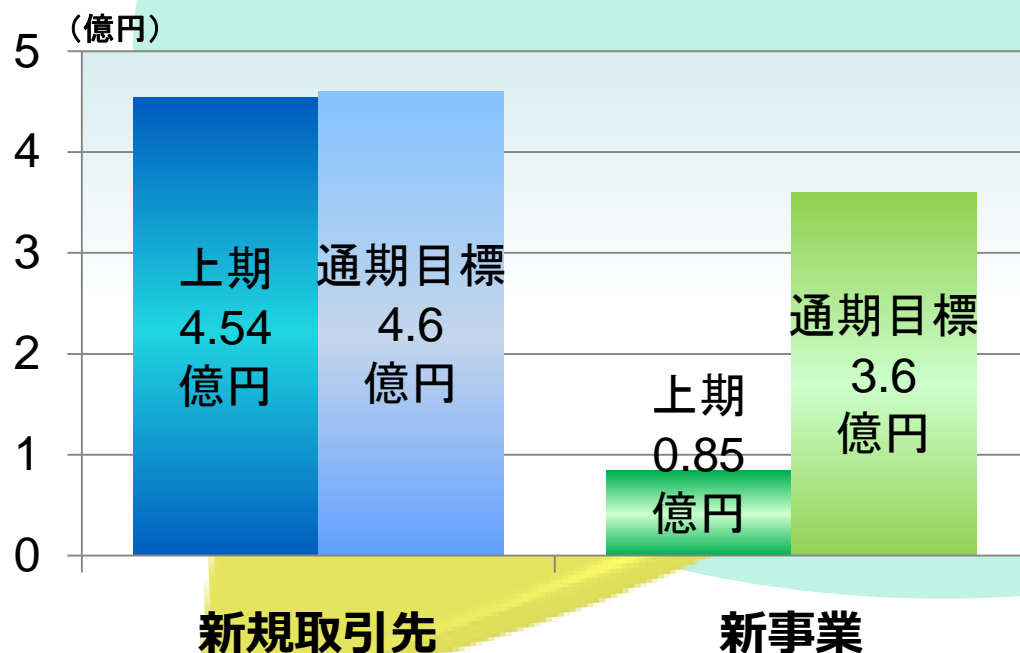
# 「既存事業の受注基盤確立」と「新事業」の売上高進捗

## 15年度通期目標

新規取引先  
13.8億円

新事業  
12.9億円

## 13年度上期実績と通期目標



# トピックス 【Small Medical Solution】



手軽にDICOM対応！

検査機器への組み込みに  
画像データのDICOM変換に  
DICOMアプリケーション開発に

Share

タブレット端末でどこでも画像閲覧！

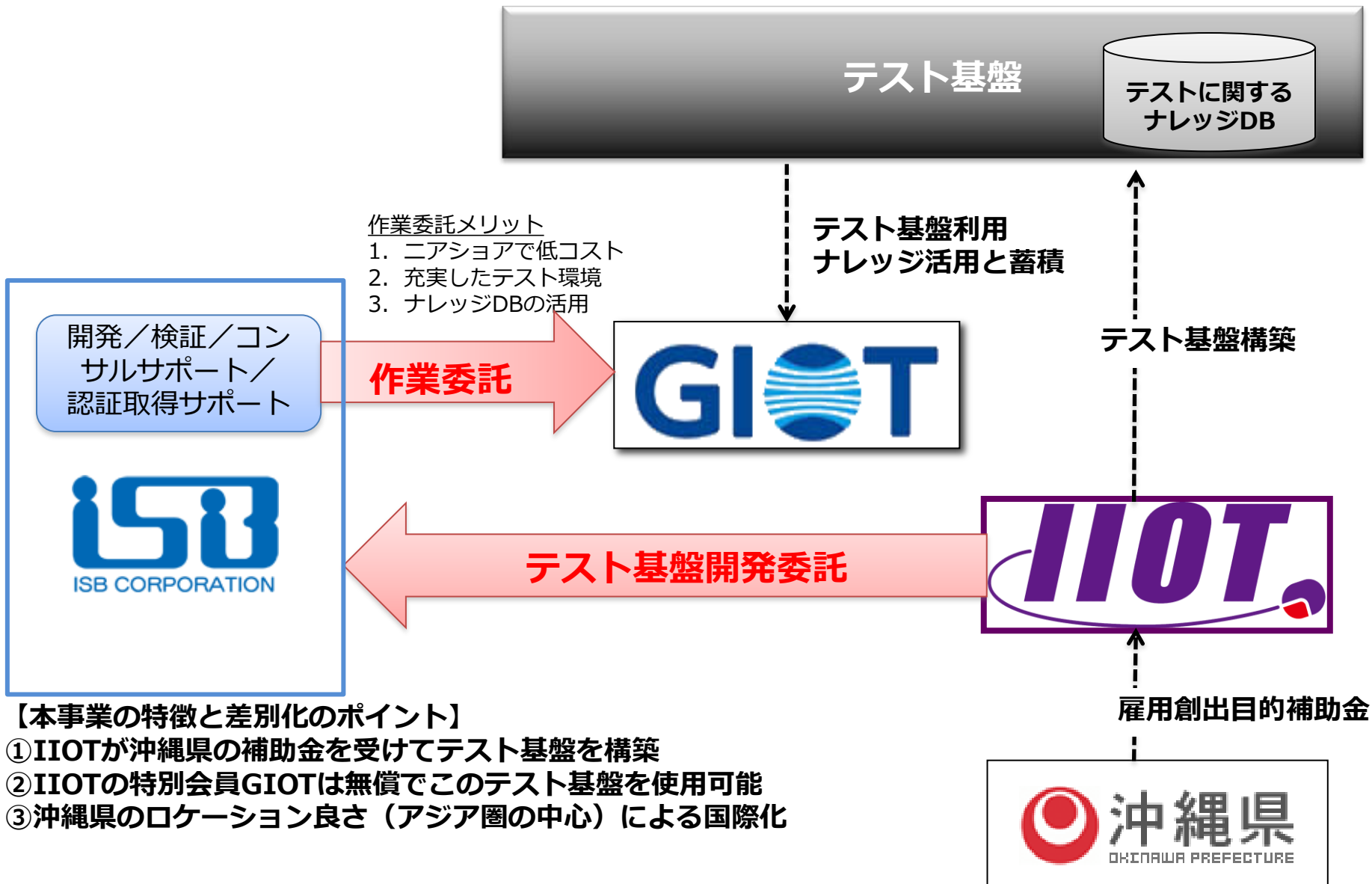
院内無線LANを活用して、ベッドサイド診療や  
カンファレンスに  
インターネットを活用して、在宅医療や訪問看護に

Eyeview 

検査機器への組み込みに画像データの  
DICOM変換。  
変換後のデータからタブレット端末  
を活用し、場所を選ばずDICOM  
形式の医用画像を参照へ



## トピックス【GIOT】





# トピックス 【災害時に有効な衛星通信ネットワークの研究開発】

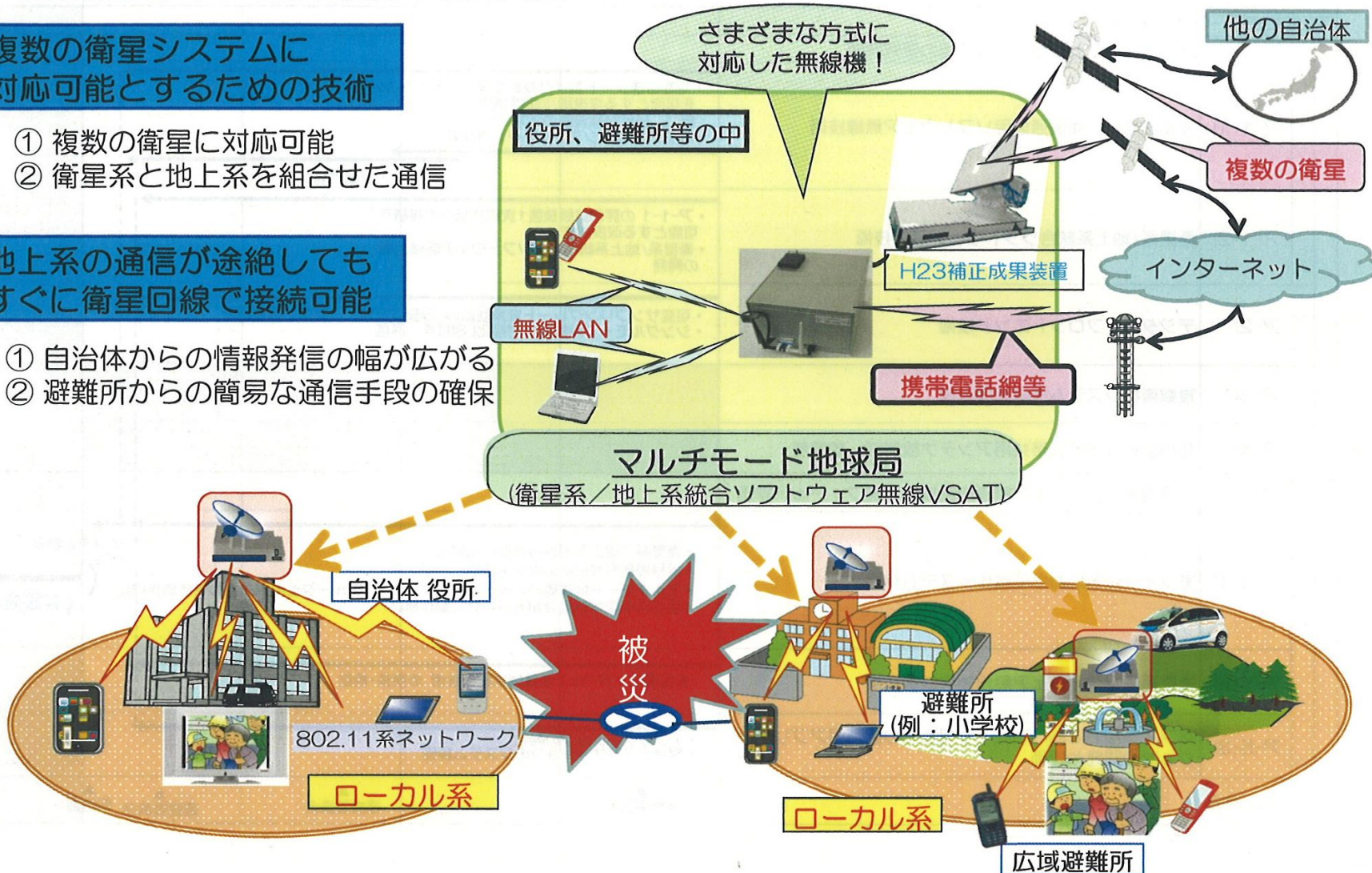
衛星通信機器を変更すること無く、被災地のニーズに応じて、様々な方式の衛星通信を利用することができる技術の研究開発

複数の衛星システムに対応可能とするための技術

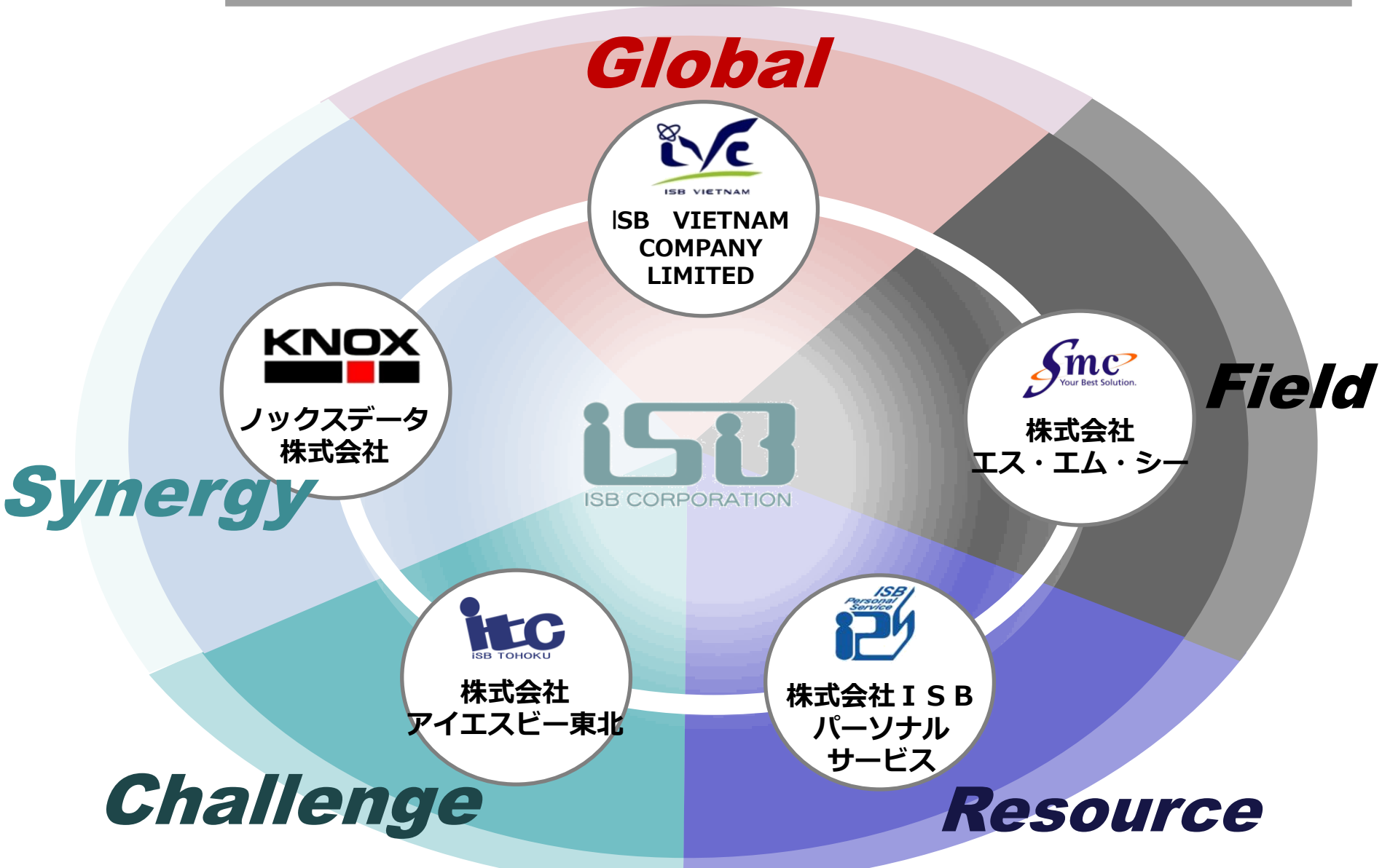
- ① 複数の衛星に対応可能
- ② 衛星系と地上系を組合せた通信

地上系の通信が途絶してもすぐに衛星回線で接続可能

- ① 自治体からの情報発信の幅が広がる
- ② 避難所からの簡易な通信手段の確保



# グループ戦略（連結子会社）



## 2013年12月期 通期 連結業績見通し及び配当予想

	2012年12月期 実績	2013年12月期 予想	増減率
売上高	10,600 百万円	12,000 百万円	13.2 %
営業利益	227 百万円	360 百万円	58.6 %
経常利益	268 百万円	396 百万円	47.8 %
当期利益	330 百万円	247 百万円	▲25.2 %
配当金 配当性向 純資産配当率	20 円 25.3 % 1.0 %	20 円(予) 33.8 %(予) — %	



本資料は、2013年12月期 第2四半期の業績に関する情報の提供と、当社に対するご理解をより深めて頂くことを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2013年6月末時点の状況において作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

## <連絡先>

IR担当 常務取締役 管理本部長 太田道也

Email: [ir-info@isb.co.jp](mailto:ir-info@isb.co.jp)

URL : <http://www.isb.co.jp/>

株式会社 **アイ・エス・ビー**